

二〇二一年度 八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科一般選抜（Ⅱ期）
介護福祉学科一般選抜（Ⅱ期）

国 語

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開かないこと。
2. 筆記用具は黒色の鉛筆またはシャープペンシルを使用すること。
3. 問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁に気付いたときは、手を挙げて監督者に知らせること。
4. 問題冊子の余白等は適宜利用してよい。
5. 問題冊子は持ち帰ってよい。

一次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

①地球上の生き物たちの命の広がりを守るため、国際社会が10年前に定めた「愛知目標」について、先ごろ国連が「完全に達成された項目はない」とする報告書をまとめた。

生態系や自然環境を保全する取り組みの、いわば通知表だ。「落第」という厳しい評価に、各国は危機感をもつて具体的な行動を起こすとともに、次の目標づくりに臨まねばならない。

社会や経済は自然の恵みのうえに成り立っており、生物多様性が失われたときの被害はaシンコクだ。農作物や水産物が減って、日々のくらしが打撃を受けるだけではない。森や海の生態系が崩れば大気や気候の乱れを招き、地球環境はさらなるAに瀕することになる。

災厄を避けるには、今世紀半ばまでに自然とのBを実現しないとイケない。そんな共通認識にもとづいて、2010年に名古屋市で開かれた生物多様性条約の締約国会議でbサイタクされたのが愛知目標だ。「森林を含む自然生息地の損失速度を少なくとも半減させる」「環境汚染を有害でない水準にまで抑える」など20項目が掲げられた。

目標の最終年を迎え、進捗状況を条約事務局がcブンセキしたのが今回の報告書だ。20の項目はそれぞれ複数の要素からなっているが、すべての要素を達成できたものはなく、一部に限って実現、または実現見込みのものも6項目にとどまった。

「野生動物の個体数は1970年以降、3分の2以上も減った」「過剰に漁獲されている海洋漁業資源は3分の1に達している」――。報告書の記述を見ると、自然を再生・回復できるのか不安がふくらむ。

来年の締約国会議で次の目標を決めることになっており、報告書は「②明確で定量的なゴールを設定するべきだ」と述べる。各国のdリガイや思惑が絡み、こうした問題で数値目標を打ち出すのは常に難しい。だが、

めざすものがわかりやすい形で示されなければ、機運は高まらず事態が進展しないのも事実だ。国際社会はこの10年の反省に立ち、合意形成に努めてほしい。

全体目標を踏まえて締約国が定める「国別目標」についても、報告書は不十分さを指摘している。生物多様性の維持は、地球温暖化の抑制や海洋プラスチックごみ汚染の防止など、直面する様々な環境問題とも密接にかかわる。それぞれに個別に取り組むのではなく、官民で協力・連携しながら環境保全の実をあげていくことが求められる。

未来に地球を引き継ぐ。それがいまを生きる世代のeセキムだ。

(朝日新聞社説 2020・10・7)

問一 傍線部a、eのカタカナを漢字で書きなさい。

問二 空欄AとBに入る語を次から選び、記号で答えなさい。

ア 保全 イ 共生 ウ 共立 エ 危険 オ 滅亡 カ 危機

問三 傍線部①「地球上の生き物たちの命の広がりを守る」とあるが、同じ意味の表現を本文中から十五字以内で抜き出して答えなさい。

問四 傍線部②「明確で定量的なゴールを設定すべきだ」とあるが、その理由を本文中の言葉を用いて四〇字以内で答えなさい。

問五 次の一文が入るべき箇所の直前の七字(句読点含む)を答えなさい。

日米欧などの先進国は意欲的な目標を設定し、世界をリードする必要がある。

問六 本文の見出し(題名)を一〇字以内で文中から抜き出して答えなさい。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

スポーツの解説を聞いてみると、「精神力」という言葉がよく出てくる。精神力さえつけければスポーツに勝てるのか、とaサツカクを起こしそうになるが、スポーツなんだから、まず体力が大切なことは当然のことだろう。体力という言い方が嫌いな人でも、ともかく、スポーツはAな力や技能や、身体の能力が大切だということとは認めるだろう。従って、スポーツの解説は、そのような身体能力の使い方や、その巧みさなどのことを話すのかと思っていると、やたら「精神力」が出てくる。bカントクや選手にインタビューするアナウンサーも、何とか精神力の話聞き出したがっているようである。

どうも、日本人は精神力が好きなのだが、それに輪をかけて出てくるのが、精神力を養うために、いかに耐えたか、という話である。苦しい練習に耐えて精神力を鍛えたために、遂に勝利を収めることができた。このようなお話の筋が好きのため、選手自身はそうも思っていないのに、このようなお話を引出そうとアナウンサーが、やっきになっているときがある。

スポーツに「耐える」ことを期待しているのは、どうも人生全般について、日本人は「耐える」ことが好きなためではなからうか。勝利を得るためには、耐えや苦しみがなければならぬ、と決めこんでいる。

ところで、少し考えてみるだけでも、人間の「精神」というものが、耐えることだけに用いられるほど貧困なものだろうかという疑問が湧いてくる。人間の精神力はもともと豊かなものであり、たとえばスポーツにも「精神」の力が必要というのなら、それはもう駄目だというときに新しい手段を考え出す能力とか、相手によって方法を変えるとか、いろんなことがあるだろう。サッカーのときに、日本の選手はイメージションが不足しているとよく言われるが、イメージションこそ、人間の「精神」のはたらきそのものではないだろうか。「耐える」ことだけを精神力と思う日本のスポーツマンの訓練法が、イメージションという豊かな精神のはたらき

をcハカイしていないかを反省して見る必要がある。

スポーツの話がわかりやすいので、それを題材として述べているが、このことは人生全般について言えないだろうか。会社などで、「精神力」を強調する上司は、部下に「耐える」ことのみを要求しているのが多いのではないだろうか。部下を鍛えるというとき、その考え方を豊かにするとか、自由な行動性を身につけるなどというのはなく、「耐える」ことを第一目標としていないだろうか。できることを上手に教えてゆくのではなく、不可能なことを要求したり、長時間にわたる仕事を要求したりして、それに耐えることを学ばせようとする。しかし、既に述べたように、その方法こそは、①本来の意味における「精神」のはたらきを貧困にし、没個性的にすることにつながっていないだろうか。

以上のようなことは少し考えるだけでもわかることだが、それにもかかわらず、忍耐カイコール精神力という図式が、なかなか消えないのはどうしてだろうか。まず第一に、それは免罪符として使用されやすいことである。「われわれはこれほどの苦しさに耐えてやってきた」という言いわけを、負けたときに言いやすいのである。日本のスポーツマンの練習時間が長いことの、ひとつの理由である、と思われる。

次に、耐えることのみに重点をおくとき、それは指導者にとって都合なのである。彼は自分を鍛える側に置いて、ひたすら選手を耐えさせるとよい。それは選手の個性をつぶすことになり、**B**な選手を集団としてdトウソツすることを容易にする。このような集団は確かにまとまりはよいかも知れないが、新しい場面に対応したり、**C**な打開策を打ち出したりすることには劣ることになる。

こんなことを考えていたら、わが国のスポーツチームにも、「耐える」ことに重点を置かない強いチームが出現してきて心強く思っている。楽しんでスポーツをして、耐えることをしないなどと言っても弱くは話にならない。その点で、たとえば、ラグビーで全国制覇をした神戸製鋼チームとか、女子バレーで全国優勝したイトーヨーカドーのチームなどは、これまでの日本の忍耐集団とは違って、しかも強いものだから大したものである。

このようなチームの選手のもつ精神力は、これまでeアインで使用されてきた日本の精神力と異なっているのが感じられる。

もう一度繰り返すが、単にスポーツのこととしてではなく、②人生全般にわたる生き方として、そろそろ日本人は、耐える精神力というワンパターンを破るために、新しい精神力を養う必要があると思われるのである。

(河合隼雄『こころの処方箋』)

問一 傍線部aとeのカタカナを漢字で書きなさい。

問二 空欄**A**と**C**に入る語を次から選び、記号で答えなさい。

ア 意欲的 イ 技巧的 ウ 身体的 エ 精神的 オ 個性的 カ 没個性的 キ 日本的

問三 傍線部①「本来の意味における『精神』のはたらき」とあるが、それはどのようなことか。本文中の言葉を用いて四〇字以内で説明しなさい。

問四 傍線部②「人生全般にわたる生き方として、そろそろ日本人は、耐える精神力というワンパターンを破るために、新しい精神力を養う必要がある」とあるが、このことについて、あなたの考えを一〇〇字以内で述べなさい。

三 次の□に漢字を入れて、慣用句を完成させなさい。

- ① 立つ□跡あとを濁にごさず (去る時、あとが見苦しくないようにする)
- ② □も山のにぎわい (つまらないものでも、ないよりまだ)
- ③ 悪あく銭□につかず (不正な金は無駄遣いしがちである)
- ④ □□に塩 (元気がない様子)
- ⑤ 和して□ぜず (他人と仲良くしても、自分を曲げない)

四 次の四字熟語の傍線部のカタカナを漢字に改めなさい。(解答欄に二字記入)

- ① 仕事はジュンプウ満帆だ。
- ② センガク非才の身を恥じる。
- ③ 面目ヤクジヨたる仕事ぶりだ。
- ④ 大器バンセイ型の人物のようである。
- ⑤ 疑心アンキにおちいつて眠れない。